

ペットフードの「安全性」と「機能性」を科学的データで差別化

～細胞レベルの科学的評価で商品競争力UP～

細胞を用いた評価（バイオアッセイ）とは？

細胞をモデルとして用い、ペットフード（原料や最終製品）が生体に与える影響を評価する手法です。従来の成分分析だけでは分からなかった生物学的応答（免疫反応や生理的な変化など）を評価できます。

ペットフード業界での活用シーン

● 安全性評価

細胞毒性・ストレス応答・炎症関連指標の確認

● 機能性の検証

腸内環境サポート、免疫関連、抗酸化作用など

● 原料スクリーニング

新規原料・代替原料の比較評価

● 品質差別化・エビデンス構築

科学的根拠に基づく付加価値訴求

活用するメリット

- ✓ 動物試験に依らない評価手法
- ✓ 高再現性でのデータ取得
- ✓ 少量サンプルで評価可能
- ✓ 研究開発から品質管理まで幅広く対応

サービスの特長

- ◆ ペットフード用途に特化した評価設計
- ◆ 原料・製品形状に応じた柔軟な試験対応
- ◆ レポートは非専門家にも分かりやすく可視化

イヌ・ネコ由来の細胞を使用し
信頼性のある細胞レベルの“見える化”を実現



【イヌ向け】
肝機能サポート
免疫サポート など



【ネコ向け】
腎・代謝サポート
消化吸収 など



商品



バイオアッセイ実施（機能性評価）

機能性価値の付加（差別化・ストーリー性）

マーケティング活用（ブランド強化・競争優位性）

売上拡大（売れる商品へ）

こんな企業様におすすめ

- ペットフード・おやつ・サプリメントメーカー様
- 原料メーカー・商社様
- 研究開発・品質保証部門のご担当者様

RIBM

お問い合わせ先：
株式会社 生体分子計測研究所
〒305-0047 茨城県つくば市千現1-17-1
TEL：029-896-6500
E-mail：bioassay@ribm.co.jp